



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月14日

上場会社名 株式会社 ワットマン

上場取引所 東

コード番号 9927 URL <http://www.wattmann.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川畑 泰史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理IRグループ グループ長 (氏名) 渡邊 匡

TEL 045-959-1100

四半期報告書提出予定日 2022年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	3,427	71.0	236	350.2	226	354.0	171	
2022年3月期第2四半期	2,004	21.6	52	55.2	49	57.9	11	78.4

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 168百万円 (%) 2022年3月期第2四半期 11百万円 (78.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	78.53	
2022年3月期第2四半期	5.17	

(注) 当社は、2022年4月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	4,409	2,686	60.4	1,217.67
2022年3月期	4,319	2,588	59.3	1,172.12

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 2,663百万円 2022年3月期 2,563百万円

(注) 当社は、2022年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		80.00	80.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、2022年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2022年3月期につきましては、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

期末配当につきましては、第2四半期以降の業績に応じて、2022年3月7日発表「配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」等に記載の「配当の基本方針」に従い、決定いたします。

3. 2023年 3月期の連結業績予想(2022年 4月 1日 ~ 2023年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,928	28.1	400	48.4	400	37.2	322	22.0	147.11

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2022年11月14日発表「業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」に記載の事由により、現時点では業績予想の修正は行いません。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期2Q	2,273,708 株	2022年3月期	2,273,708 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2023年3月期2Q	86,437 株	2022年3月期	86,380 株
------------	----------	----------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期2Q	2,187,284 株	2022年3月期2Q	2,165,983 株
------------	-------------	------------	-------------

(注)当社は、2022年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期連結決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10
(収益認識関係)	12
(重要な後発事象)	12
3. その他	13
仕入及び販売の状況	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期における国内及び海外経済は新型コロナウイルス感染症の流行が継続し、依然として厳しい状況にあります。また、ウクライナ情勢や、北米におけるインフレとそれに伴う金融引き締めにより、物流コストの上昇や供給ひっ迫が発生し景気の下振れ懸念が続いております。一方で、このようなインフレおよび供給ひっ迫はリユース市場でのニーズの高まりを生起しております。

当社グループはこのような外部環境に対応し、前連結会計年度に引き続き成長のための体制づくりとマネジメント力の強化を積極的に進めるとともに、リユース市場でのニーズの高まりに応える事で、収益の改善に努めてまいりました。

具体的には、コア事業の成長・スピノフ事業の成長・海外事業の成長を通じたオーガニックな成長及び前連結会計年度に本格化したインオーガニック事業成長を進めました。

営業政策面では、前連結会計年度に引き続き、ネット通販の強化、専門ジャンル強化、高粗利率ジャンル強化による粗利率改善等を進めました。店舗政策面では、2022年6月に、平塚梅屋事業所・雑色事業所を移転統合した「ワットマンテック・スタイル ワットマン OSC湘南シティ店」をオープンいたしました。また、ワットマンタイランドにおいてwarehouse(倉庫)型店舗への集約を進め、2022年4月にWATTMANN Lam Luk Ka 店をオープンし、当第2四半期末時点でタイ王国内の全5店舗すべてwarehouse型となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年と比べ14億23百万円(71.0%)増収の34億27百万円となりました。これは株式会社ホビーサーチを中心とした開閉店売上が前年同期と比べ13億11百万円増収の14億3百万円、および既存店売上が1億12百万円(5.9%)増収により20億24百万円となったことによります。

オーガニック事業における商品カテゴリー別売上高は、電化製品等が前年と比べ40百万円(10.7%)増収の4億24百万円、服飾等が95百万円(16.5%)増収の6億75百万円、パッケージメディア(本・CD/DVD・ゲーム)が35百万円(7.6%)減収の4億28百万円、ホビーが専門業態(ワットマンホビー・ゲームステーション(GS))のスタートにより31百万円(23.2%)増収の3億46百万円、その他は各種専門業態(ワットマンSC(スポ・キャン)・ワットマンカメラ)のスタート等により65百万円(19.3%)増収の3億52百万円となりました。

またホビーサーチにおける商品カテゴリー別売上高は、ホビーが11億99百万円となりました。

売上総利益は、売上増収に伴い前年と比べ3億59百万円(28.0%)増益の16億44百万円、売上総利益率48.0%となりました。既存店は69百万円(5.27%)増益の12億26百万円、開閉店は2億89百万円(499.7%)増益の3億47百万円となりました。

オーガニック事業における商品カテゴリー別の売上総利益については、電化製品等が前年と比べ36百万円(14.8%)増益の2億82百万円、服飾等が40百万円(11.2%)増益の4億4百万円、パッケージメディア(本・CD/DVD・ゲーム)が18百万円(6.1%)減益の2億81百万円、ホビーが17百万円(13.1%)増益の1億53百万円、その他は46百万円(19.4%)増益の2億86百万円となりました。

またホビーサーチにおける商品カテゴリー別売上総利益は、ホビーが2億36百万円となりました。

販売費及び一般管理費においては、前年同期に計上されたM&A費用が減少したものの、主にホビーサーチ社連結による経費増加により、前年と比べ1億75百万円(14.3%)増加し14億2百万円となりました。既存店では2百万円(0.2%)減少の11億23百万円、開閉店では主に上述のホビーサーチ社連結等により1億77百万円(166.6%)増加の2億84百万円となりました。

上記の結果、営業利益は、前年と比べ1億83百万円増益の2億36百万円となりました。既存店は71百万円(71.1%)増益の営業利益1億73百万円、新店は1億11百万円増益の営業利益62百万円となりました。経常損益は前年同期と比べて1億76百万円(354.0%)増益の2億26百万円となりました。

経常利益以下については、平塚梅屋事業所立退等に伴う受取補償金45百万円の計上により、税金等調整前四半期純利益が前年と比べ2億15百万円(436.2%)増益の2億64百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億60百万円増益の1億71百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①リユース事業

リユース事業セグメントにおいてはタイ王国と国内の新店開店と既存店増収により、外部顧客への売上高は前年に比べ2億23百万円(前年比111.2%)増収の22億28百万円、セグメント利益は売上増加により前年に比べ1億14百万円(前年比319.1%)増益の1億67百万円となりました。

②新品EC事業

新品EC事業においては外部顧客への売上高は11億99百万円、セグメント利益は68百万円となりました。

なお、上記記述においては2021年3月以前より同一業態で営業中の事業所を既存店、その他事業所を開閉店としております。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、29億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億92百万円増加しております。

これは、商品が97百万円、その他流動資産が71百万円増加したことが主な要因であります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、14億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億2百万円減少しております。これは、敷金及び保証金が79百万円、のれんが14百万円減少したことなどが主な要因であります。

この結果、総資産は44億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ89百万円の増加となりました。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、11億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億30百万円増加しております。

これは、買掛金が39百万円、未払法人税等が59百万円、その他流動負債が23百万円それぞれ増加したこと等が主な要因であります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は5億38百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億39百万円減少しております。

これは、長期借入金が66百万円、その他固定負債が75百万円減少したことなどが主な要因であります。

この結果、負債合計は17億23百万円となり、前連結会計年度末に比べ8百万円の減少となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、26億86百万円となり、前連結会計年度末に比べ98百万円増加しております。

これは、親会社株主に帰属する四半期純利益が1億71百万円計上されたこと、配当金が87百万円あったこと等により利益剰余金が84百万円増加したことが主な要因であります。

これらの結果、自己資本比率が60.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,494,746	1,506,819
売掛金	195,288	206,091
商品	905,688	1,003,177
その他	170,874	242,801
流動資産合計	2,766,598	2,958,889
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	148,745	137,175
土地	382,457	382,457
その他	66,230	65,115
有形固定資産合計	597,432	584,747
無形固定資産		
のれん	275,646	261,138
その他	11,017	10,460
無形固定資産合計	286,663	271,599
投資その他の資産		
投資有価証券	5,058	3,210
敷金及び保証金	486,331	406,538
その他	177,874	184,392
投資その他の資産合計	669,265	594,140
固定資産合計	1,553,361	1,450,487
資産合計	4,319,960	4,409,377
負債の部		
流動負債		
買掛金	266,250	305,477
短期借入金	68,600	77,000
1年内返済予定の長期借入金	141,280	136,480
未払法人税等	51,095	111,085
賞与引当金	30,490	32,997
契約負債	29,790	31,462
その他	465,660	489,608
流動負債合計	1,053,167	1,184,112
固定負債		
長期借入金	554,032	487,446
退職給付に係る負債	35,205	37,620
その他	89,468	13,918
固定負債合計	678,706	538,985
負債合計	1,731,874	1,723,097

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	1,381,380	1,398,397
利益剰余金	879,107	963,396
自己株式	△101,390	△101,468
株主資本合計	2,659,097	2,760,324
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	868	530
土地再評価差額金	△95,726	△95,726
為替換算調整勘定	△421	△1,742
その他の包括利益累計額合計	△95,279	△96,938
非支配株主持分	24,267	22,892
純資産合計	2,588,085	2,686,279
負債純資産合計	4,319,960	4,409,377

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	2,004,307	3,427,939
売上原価	719,478	1,783,750
売上総利益	1,284,828	1,644,189
販売費及び一般管理費	1,232,367	1,408,004
営業利益	52,461	236,185
営業外収益		
受取利息	476	213
受取配当金	47	78
受取手数料	4,659	4,671
受取解決金	—	3,238
その他	1,030	1,485
営業外収益合計	6,213	9,686
営業外費用		
支払利息	1,835	2,212
長期前払費用償却	2,948	2,188
為替差損	3,866	14,433
その他	75	269
営業外費用合計	8,726	19,103
経常利益	49,948	226,768
特別利益		
保険差益	326	94
投資有価証券売却益	—	1,514
受取補償金	—	45,512
固定資産売却益	1,359	—
特別利益合計	1,685	47,121
特別損失		
投資有価証券売却損	—	49
固定資産除却損	—	2,319
減損損失	2,214	1,515
店舗閉鎖損失	—	5,036
特別損失合計	2,214	8,920
税金等調整前四半期純利益	49,420	264,968
法人税等	38,214	93,186
四半期純利益	11,205	171,781
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,205	171,781

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	11,205	171,781
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24	△337
為替換算調整勘定	△104	△2,696
その他の包括利益合計	△79	△3,034
四半期包括利益	11,126	168,747
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,179	170,122
非支配株主に係る四半期包括利益	△53	△1,375

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	49,420	264,968
減価償却費	30,686	27,158
のれん償却額	—	14,507
長期前払費用償却額	5,138	2,113
差入保証金償却額	1,136	1,679
株式報酬費用	8,508	17,016
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,800	2,507
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2,524	2,414
受取利息及び受取配当金	△523	△291
支払利息	1,835	2,212
為替差損益(△は益)	350	△455
有形固定資産売却損益(△は益)	△1,359	2,319
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△1,465
受取補償金	—	△45,512
減損損失	2,214	1,515
店舗閉鎖損失	—	5,036
売上債権の増減額(△は増加)	22,964	△10,802
棚卸資産の増減額(△は増加)	△83,832	△88,916
仕入債務の増減額(△は減少)	△9,581	39,492
未払費用の増減額(△は減少)	24,144	32,292
未払消費税等の増減額(△は減少)	△12,234	2,722
その他	△9,998	3,767
小計	27,594	274,282
利息及び配当金の受取額	64	86
利息の支払額	△1,684	△2,352
法人税等の支払額	△17,991	△34,584
補償金受取額	—	36,000
店舗閉鎖損失の支払額	—	△19,426
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,982	254,004
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△17,002	△9,432
有形固定資産の売却による収入	1,693	—
無形固定資産の取得による支出	—	△669
投資有価証券の売却による収入	—	2,829
敷金及び保証金の差入による支出	△10,537	△17,352
敷金及び保証金の回収による収入	8,835	25,954
預り保証金の返還による支出	—	△79,468
長期前払費用の取得による支出	—	△6,232
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△18,250	—
その他	1,652	△15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△33,608	△84,386

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	10,347	—
長期借入れによる収入	380,000	—
長期借入金の返済による支出	△82,218	△71,890
自己株式の取得による支出	△347,827	△78
配当金の支払額	△65,449	△87,438
財務活動によるキャッシュ・フロー	△105,147	△159,406
現金及び現金同等物に係る換算差額	52	1,861
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△130,721	12,072
現金及び現金同等物の期首残高	1,501,523	1,494,746
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,370,801	1,506,819

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	リユース事業	新品EC事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,004,307	—	2,004,307	—	2,004,307
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,004,307	—	2,004,307	—	2,004,307
セグメント利益	52,461	—	52,461	—	52,461

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	52,461
「その他」の区分の利益	—
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	—
棚卸資産の調整額	—
四半期連結損益計算書の営業利益	52,461

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	リユース事業	新品EC事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,228,047	1,199,892	3,427,939	—	3,427,939
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,228,047	1,199,892	3,427,939	—	3,427,939
セグメント利益	167,417	68,768	236,185	—	236,185

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	236,185
「その他」の区分の利益	—
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	—
棚卸資産の調整額	—
四半期連結損益計算書の営業利益	236,185

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの変更)

前第3四半期連結累計期間より、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の「リユース事業」単一セグメントから、「リユース事業」「新品EC事業」に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントにより作成しており、前連結会計年度に開示した第2四半期連結累計期間に係る報告セグメントとの間に相違が見られます。

(報告セグメントに属する主要な製品及びサービス)

「リユース事業」セグメントに区分される事業は、従前同様にリユース商品中心の国内2都県およびタイ王国の店舗販売及びネット販売事業です。

「新品EC事業」セグメントに区分される事業は、新品商品中心の自社ECサイト販売事業です。

(収益認識関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント		その他	合計
	リユース事業	新品EC事業		
ワットマンスタイル業態	736,482	—	—	736,482
ワットマンテック業態	460,676	—	—	460,676
ブックオフ業態	456,752	—	—	456,752
ワットマンホビー(含むGS)業態	195,302	—	—	195,302
カウマン業態	30,400	—	—	30,400
Warehouse Store(タイ)	56,618	—	—	56,618
その他	68,075	—	—	68,075
顧客との契約から生じる収益	2,004,307	—	—	2,004,307
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,004,307	—	—	2,004,307

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント		その他	合計
	リユース事業	新品EC事業		
ワットマンスタイル業態	844,674	—	—	844,674
ワットマンテック業態	503,668	—	—	503,668
ブックオフ業態	432,587	—	—	432,587
ホビー関連業態	240,701	1,199,892	—	1,440,593
カウマン業態	33,728	—	—	33,728
Warehouse Store(タイ)	85,064	—	—	85,064
その他	87,623	—	—	87,623
顧客との契約から生じる収益	2,228,047	1,199,892	—	3,427,939
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,228,047	1,199,892	—	3,427,939

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

仕入及び販売の状況

1. 商品仕入実績

当第2四半期連結累計期間における商品仕入実績は、次のとおりであります。

事業	品目	金額(千円)	構成比(%)	前年同期比(%)
オーガニック事業	電化製品等	140,830	16.3	△2.2
	服飾等	271,891	31.4	15.9
	パッケージメディア	147,977	17.1	△8.7
	ホビー	227,298	26.2	17.2
	その他	78,049	9.0	13.8
合計		866,047	100.0	7.8
ホビーサーチ	ホビー	1,006,650	100.0	—
合計		1,006,650	100.0	—
総合計		1,872,697	—	133.1

(注) 1 金額は仕入価格によっております。

2 パッケージメディアは本、CD/DVD、ゲーム全般から構成されております。

2. 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績は、次のとおりであります。

事業	品目	金額(千円)	構成比(%)	前年同期比(%)
オーガニック事業	電化製品等	424,627	19.1	10.7
	服飾等	675,773	30.3	16.5
	パッケージメディア	428,441	19.2	△7.6
	ホビー	346,254	15.5	23.3
	その他	352,950	15.8	19.3
合計		2,228,047	100.0	11.2
ホビーサーチ	ホビー	1,199,892	100.0	—
合計		1,199,892	100.0	—
総合計		3,427,939	—	71.0

(注) 1 金額は販売価格によっております。

2 パッケージメディアは本、CD/DVD、ゲーム全般から構成されております。